

大阪 荷止めや制限広がり下げ余地残す展開

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は一段安。在庫調整も兼ねて荷止めや制限を複数電炉が打ち出し、海外市場にも下げ止まりの兆しが見えてこないことを背景に、下げ余地を残す展開といえそうだ。同地区電炉のH2実勢値は5万3000~5万3500円、新断バラ同5万4000~5万6000円、鋼ドライ粉バラ同4万5500~4万6500円見当で推移している。

東京製鉄が29日から全拠点で一律1,000円の値下げを実施したことを受け、荷止め中の岸和田製鋼除く7社による一律1,000円下げを見せた。ここにきて下げ足が早まっているが、ヤード筋の手持ち在庫は一樣に

薄いのは対照的に、電炉側からすれば、4月は大型連休が控える分、一定量の調達を図らなければならないことで、「来月には価格対応に慎重さも取り戻してくるのでは」(ヤード業者筋)という。

ただ、入荷の過剰などところでは荷止め対応を打ち出している。他も計画並みの入荷に抑えるための制限が複数で行われ、足元については販路が狭まった状態にある。輸出含めた海外市場も底入れ材料が見出しにくい展開となっており、「需給面の緩さや海外市場を踏まえれば、東鉄主導で下げすすむ展開にあるのでは」(電炉購買担当者)との声が聞かれる。

共英製鋼「レノファ山口FC」と

オフィシャルプレミアムパートナー契約を締結

共英製鋼(本社=大阪市北区、廣富靖以社長)は山口県を本拠地とするプロサッカークラブ「レノファ山口FC」を運営するレノファ山口(本社=山口県山口市、渡部博文社長)とオフィシャルプレミアムパートナー契約を締結した。

共英製鋼はレノファ山口FCのクラブミッション「心をつなぎ、感動を届ける」、クラブビジョンの「地域とともに、新たな価値を創る」に賛同し、23年度シーズンのオフィシャルプレミアムパートナーとして、

J1を目指すレノファ山口FCや18歳以下の育成組織(アカデミー)のチャレンジをサポートする。レノファ山口FCの応援活動を通じて、地域の方々と繋がり、同クラブと共英製鋼山口事業所(山口県山陽小野田市)のホームタウン・山口を盛り上げ、その魅力を発信していく。



山口事業所の若手社員とレノファ山口FCのマスコット・レノ丸

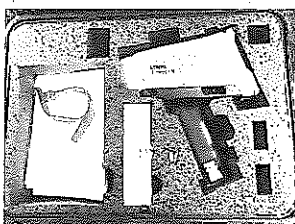
富士興産、携帯型金属分析計を2台導入 作業の効率化に努める

(大阪) レアメタルやレアアースのリサイクル事業を手掛ける富士興産(本社=大阪市浪速区、赤嶺和俊社長)は今月、新たにエビデント製ハンドヘルド蛍光X線分析計「VANTA Element-S」(販売元: ポニー工業)を2台導入した。

同機は優れた耐久性を持ち、計測スピードが速く、微細な成分も検出可能な高精度の分析能力が特長だ。金属リサイクル業界で、多くの事業者が導入している人気機種だ。

富士興産では分析専門の社員を1人配置し、ほか数名のベテラン社員で分析作業を行っている。近年、同社の扱い数量は増加傾向にあり、この状態が続けば分析業務が追い付かず、検収に遅れが生じる事態があるとして、現場社員をローテーションし、初めての者にはベテラン社員が付き添って教えるなどして社員全員が分析に携われるように取り組んできた。

今回の導入もそんな取り組みの一環になり、機械を増やして、ワンオペレーションで検収を円滑にすることが狙いだ。赤嶺社長は「分析業務を円滑にし、仕入れから検収までの報告をこれまで以上にスピーディ



導入した金属分析計

一で正確性の高いレベルに引き上げたい」と話す。

機械の導入以前から同社の分析業務についてはユーザーの間で早さと正確性に定評があり、中には検収結果が出てから値決めをするユーザーもいるという。「分析結果によって、値段が変わるだけでなく、時には信頼関係も変わってしまうことがある。それほど重要であり、分析業務は当社にとって最も大切な業務だ。今後も品質管理と安全の確保に努めていきたい」(赤嶺社長)と語る。

金属を甞らせる
リサイクルは、
ダイナミックで
奥が深い。

非鉄全般 親切高価買取します
貿易部 075(321)5509

ITO SHOTEN 株式会社 伊藤商店

向日工場/本社工場/舞鶴工場/淀工場/貿易部
<https://www.iron-ito.co.jp/>